



ライブラリー

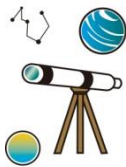
2015.8

《平成27年8月20日発行》

福崎町立図書館 としょかんだより No.61

福崎町西治360番地1 TEL. 0790-22-3790
http://www.town.fukusaki.hyogo.jp/html/library/

宇宙を知ろう！



今年7月、アメリカの探査機「ニューホライズズ」が冥王星に最接近し史上初となる詳細な写真撮影に成功しました。日本では10人目の宇宙飛行士油井亀美也さんの活躍など、この夏は宇宙に関する話題が多くありました。今回は宇宙の本をご紹介します。



『眠れなくなる宇宙のはなし』
(佐藤勝彦 著 宝島社 440.2 サ)

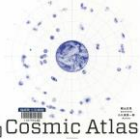
古代の宇宙思想、天動説と地動説、相対性理論など、宇宙にまつわる様々な出来事を分かりやすく解説しています。昔から人々を魅了してきた宇宙。その秘密を知れば知るほど、夜空が違って見えるかも。



『冥王星を殺したのは私です』
(マイク・ブラウン 著 飛鳥新社 445.9 ブ)

2006年8月、冥王星が9つあった惑星から準惑星に降格しました。その裏側では、一体何が起こっていたのか。降格のきっかけとなった「第10惑星」を発見した天文学者によるノンフィクション。

宇宙の地図



『宇宙の地図』
(観山正見・小久保英一郎 著 朝日新聞出版 440.8 ミ)

地球と月は、どのくらい離れているのでしょうか。そんな時にこの本を見ると、位置関係を具体的に知ることができます。惑星や銀河の美しい写真と解説がついているので、天文学初心者の方におすすめです。



『天地明察』
(沖方丁 著 角川書店 Fウブ)

江戸時代、「日本独自の暦を作る」という一大事業が行われました。制作者は囲碁棋士にして天文学者という、一風変わった経歴を持つ男でした。後の初代幕府天文方となる実在の人物、しぶかわはるみ 渋川春海を描いた小説。

図書館カレンダー

※ は休館日です。

9月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2 えほんの じかん 11:00~	3 資料整理日	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18 キャンドル ナイト 日暮れ~	19 おはなし会 11:00~
20	21	22	23	24	25	26 映画会 14:00~
27	28	29	30			

10月

日	月	火	水	木	金	土
				1 資料整理日	2	3 おたのしみ会 14:00~
4	5	6	7 えほんの じかん 11:00~	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17 おはなし会 11:00~
18	19	20	21	22	23	24 映画会 14:00~
25	26	27	28	29	30	31

キャンドルナイト2015

9月18日(金) 日暮れ～

図書館南側ウッドデッキ・玄関

ブラックベリーコンサート 19:00～

今年で8回目を迎えるキャンドルナイト。廃油から作られたキャンドルが、秋の夜に灯ります。

ブラックベリーさんの素敵な音楽と合わせて、落ち着いたひと時を味わってみませんか。



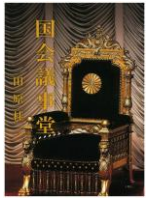
図書館おすすめの1冊

テレビでよく見る国会議事堂。この本はその名の通り、国会議事堂の写真集です。

議場や広間のほか、ふだん目にするののない議員食堂など、私たちが知らない国会議事堂を見ることが出来ます。本で見学気分を味わってみてはどうでしょう。

『国会議事堂』

(田原桂一 撮影 講談社 523.1 夕)



こどものほん

えほん/1・2年生 3・4年生～ 5・6年生～



うみのいきもの



「ほんとおおきさ水族館」
こみやてるゆき かんしゅう
(小宮輝之 監修)

イルカのおおきさってどのくらい？
このほんをみてね。みんなでいろいろな
いきものとくらべっこしてみよう。



「ゆらゆらチンアナゴ」
よこつかまこと へぐちえり
(横塚真己人 しゃしん 江口絵里
ぶん)

ふしぎな生き物チンアナゴ。いつも
なにをしているの？どんなものを食べる
のかな？



「ゴミにすむ魚たち」
おおつかゆきひこ ぶん しゃしん
(大塚幸彦 文・写真)

人間が海にすてた多くのゴミ。あ
きかんのなかでくらす魚や、タイヤの中
でくらすウツボがいます。でも、ゴ
ミできずついた魚もいるんだよ。



「水族館のひみつ」
にいのだい ちよ
(新野大 著)

海の生き物が見られる水族館。生き
物が元気にくらすように、いろん
な工夫があります。水族館の裏側を
し
知ることが出来るよ！

12歳の文学賞

ほんだな

7月にお笑いコンビ「ピース」の又吉直樹さんが芥川賞を受賞し、大きな話題となりました。これがきっかけで、文学賞に関心を持った方もいるのでは？今回は、数ある文学賞の中でも少し変わったものをご紹介します。

「12歳の文学賞」は「12歳以下の小学生なら応募可能」という、年齢制限がついた文学賞です。原稿用紙5枚以上の「小説部門」とハガキ1枚に物語を書く「ハガキ小説部門」の2部門あり、作家のあさのあつこさんらによる選考で大賞が決まります。受賞作は「本当に小学生!？」と疑うような本格的な作品から、クスリとさせられるユーモア溢れるものまで幅広く、その可能性に驚かされるばかりです。

受賞作は本に収録されていますので、一度お手にとって瑞々しい感性に触れてみてください。

『12歳の文学』(小学館 児童書 913 ジュ)



としょかんよりおしらせ 展示のお知らせ

8月8日から、「戦後70年・戦争と平和について学ぼう」として、戦争にまつわるさまざまな資料を展示中です。

長い年月が過ぎ、当時のことが忘れ去られようとしています。お越しの際はぜひ、展示コーナーもご覧ください。

お手元に本はありませんか？

夏休みも終盤に差し掛かってきました。夏休みはいつもよりたくさん本が借りられます。

多くの方にご利用いただくため、お手元に返し忘れた本がないかも一度ご確認ください。

